

電子レンジ食品からの出火事例

火災概要

共同住宅の台所内において、電子レンジで調理する食品を加熱していたところ、数分後、食品から出火し、電子レンジ内等の一部が焼損した「ぼや」の建物火災です。自動火災警報器の音で気付いた家人が、火の点いた食品を取り出し消火しています。

なお、本件火災による死傷者及び類焼は発生していません。



原因概要

原因は、家人が調理方法を誤り、水を入れずに電子レンジで食品を調理したことから電子レンジのマイクロ波が、食品の紙容器内に入っている乾燥状態の米及び肉等具材に当たり、具材のタンパク質と脂質等が発熱しグラファイト化が進み、紙容器内が高温となり紙容器の上部紙部分が発火温度に達したことから出火に至ったものです。



火災発生時の状況（復元状況）

燃焼実験後の食品内部の状況

類似火災の防止対策

現在、電子レンジを使用して調理する即席麺やご飯などの食品が多数出回っており、私たちが口にする機会も増えてきています。このため、今回のように水を入れずに調理するなど家人の不注意で火災に至る可能性も高くなります。

このことから、食品に記載されている注意事項をよく読み調理して下さい。

また、飲酒や疲労から注意を怠り、調理方法を誤ってしまう可能性があるため、十分に注意して下さい。

今回、自動火災警報器が鳴ったため、早い段階で火災に気が付き、火災による被害も最小限で済みました。自動火災警報器が奏効した事例です。一般住宅には住宅用火災警報器の設置が義務化されています。まだ、一般住宅に住宅用火災警報器を設置されていない方は、早急に設置して下さい。

調理方法
を確認し
て下さい。



……住宅用火災警報器を早期に設置してください……

…火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。…